

## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月11日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東  
 コード番号 3696 URL <https://ceres-inc.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 TEL 03-5797-3347  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年12月期第2四半期	12,867	34.1	2,778	210.3	1,675	107.1	2,627	222.6	1,797	366.7
2020年12月期第2四半期	9,598	23.8	895	32.3	809	111.4	814	50.1	385	△10.4

（注）包括利益 2021年12月期第2四半期 1,926百万円（209.6％） 2020年12月期第2四半期 622百万円（54.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	163.40	157.40
2020年12月期第2四半期	34.76	34.36

※EBITDA＝税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）  
＋減損損失

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年12月期第2四半期	18,732	8,860	43.6
2020年12月期	16,227	7,091	40.1

（参考）自己資本 2021年12月期第2四半期 8,168百万円 2020年12月期 6,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	36.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2021年8月11日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	23,800	17.7	3,400	67.3	2,000	33.6	3,000	65.2	2,000	168.6	181.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年8月11日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	11,571,900株	2020年12月期	11,562,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	565,596株	2020年12月期	565,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	10,998,813株	2020年12月期2Q	11,078,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、再度緊急事態宣言が発令されるなど、極めて厳しい状況にあり、不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は「インターネットマーケティングを通じて豊かな世界を実現する」という企業理念のもと、「自社の運営するメディアの利用価値を最大化する」というミッションを実現することを目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、売上面では、当社グループが運営するポイントサイト「モッピー」で幅広い業種の広告需要の取込み及び会員数の増加により大幅な増収となりました。また、D2C事業において、プロモーション効果により順調に売上高が伸長し、関係会社においては、連結子会社である株式会社ゆめみが取引先企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）ニーズの高まりにより過去最高四半期売上高を達成しました。

利益面では、増収効果に加えて、過去に売却したコインチェック株式の条件付対価（アーンアウト）発生により大幅な増益となり、また持分法適用関連会社であるビットバンク株式会社も暗号資産市場の取引活性化を背景とした好業績により大きく利益貢献しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,867百万円（前年同期比34.1%増）、営業利益は1,675百万円（同107.1%増）、経常利益は2,627百万円（同222.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,797百万円（同366.7%増）となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているEBITDAは2,778百万円（前年同期比210.3%増）となりました。なお、当社グループのEBITDAは税金等調整前当期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）＋減損損失で算出しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績への影響は、現時点においては軽微であり、固定資産の減損会計等その前提にて会計上の見積りを行っております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源配分、経営管理体制の実態などの観点から、報告セグメントの区分方法を見直し、従来、「モバイルサービス事業」に含めていた、「資金調達プロ」の事業を「フィナンシャルサービス事業」に含める変更をしております。当報告セグメント区分の変更により、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

#### モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトである「モッピー」に加え、自社アフィリエイトプログラム「AD.TRACK」やポイントサイト以外の各種コンテンツメディアの運営、及び企業のDX化支援を手がける連結子会社「ゆめみ」で構成されております。

「モッピー」においては、ポイ活トレンドの高まり等を好機として会員数増加ペースが加速し、当第2四半期連結会計期間末の会員数は336万人（前年同期比27.3%増）となりました。また、幅広い業種の広告出稿の増加、各種キャンペーンの実施等、継続的なサイトの改良も行ってまいりました。

「AD.TRACK」においては、自社メディアの媒体力の活用やクライアントの新規開拓等に加えて、インフルエンサーマーケティングへの取り組みなどの施策により、利益率が改善しました。

コンテンツメディアにおいては、D2C事業のプロモーション強化による増収が業績に寄与しました。

「ゆめみ」においては、リモートワーク推奨による一部オフィス解約などのコスト削減効果に加えて、大手企業を中心としたDX化支援に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は12,143百万円（前年同期比29.6%増）、セグメント利益は1,930百万円（同57.7%増）となりました。

## フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、ブロックチェーン関連事業、オンラインファクタリングサービス事業、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。

ブロックチェーン関連事業においては、100%子会社である株式会社マーキュリーへの投資を継続し、2021年3月15日付で暗号資産販売所「CoinTrade」を開業しました。また、オンラインファクタリングサービス事業としてフリーランス向け資金調達支援フィンテックサービス「nugget（ナゲット）」にも引き続き投資をしております。さらに投資育成事業では、コインチェック株式のアーンアウト発生に加えて、継続保有していた一部有価証券についてはリターン確保の観点から売却いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は772百万円（前年同期比224.9%増）、セグメント利益は200百万円（前年同期は30百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ2,505百万円増加し、18,732百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,008百万円増加したこと、売上の増加により受取手形及び売掛金が471百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ736百万円増加し、9,872百万円となりました。これは主にポイント引当金が590百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,769百万円増加し、8,860百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い1,797百万円増加した一方、配当金の支払いにより197百万円減少したこと等によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末より991百万円増加し、7,088百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、721百万円（前年同期比21.4%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益2,604百万円の計上があった一方、法人税等の支払額575百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、176百万円（前年同期は201百万円の使用）となりました。主な要因は、暗号資産の売却による収入231百万円、投資有価証券の売却による収入77百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、90百万円（前年同期比84.3%減）となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額550百万円、長期借入れによる収入300百万円があった一方、長期借入金の返済による支出505百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」（2021年2月12日公表）で発表いたしました通期の連結業績予想から変更しております。

詳細につきましては、2021年8月11日に公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,087,657	7,095,741
受取手形及び売掛金	2,778,802	3,250,049
営業投資有価証券	1,804,861	2,030,481
商品及び製品	28,428	11,375
仕掛品	65,843	51,777
原材料及び貯蔵品	164,663	151,555
その他	587,074	714,439
流動資産合計	11,517,331	13,305,421
固定資産		
有形固定資産	296,288	271,753
無形固定資産		
のれん	938,574	883,674
その他	457,409	482,473
無形固定資産合計	1,395,983	1,366,148
投資その他の資産		
関係会社株式	872,903	1,612,877
その他	2,154,452	2,183,778
貸倒引当金	△9,951	△6,997
投資その他の資産合計	3,017,403	3,789,658
固定資産合計	4,709,675	5,427,560
資産合計	16,227,007	18,732,981
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,024,020	735,290
短期借入金	1,300,000	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	973,862	937,320
未払法人税等	607,273	874,258
ポイント引当金	1,693,881	2,284,116
役員賞与引当金	30,000	-
賞与引当金	-	21,496
その他	1,842,588	1,819,491
流動負債合計	7,471,625	8,521,974
固定負債		
社債	315,000	170,000
長期借入金	1,228,653	1,059,831
資産除去債務	70,809	70,823
その他	49,466	49,779
固定負債合計	1,663,929	1,350,434
負債合計	9,135,555	9,872,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,857,521	1,877,742
資本剰余金	2,378,976	2,399,197
利益剰余金	2,321,662	3,920,937
自己株式	△307,778	△307,778
株主資本合計	6,250,380	7,890,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,410	278,530
その他の包括利益累計額合計	260,410	278,530
新株予約権	4,373	4,373
非支配株主持分	576,286	687,572
純資産合計	7,091,451	8,860,573
負債純資産合計	16,227,007	18,732,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	9,598,335	12,867,898
売上原価	7,133,575	8,331,181
売上総利益	2,464,759	4,536,716
販売費及び一般管理費	1,655,671	2,861,029
営業利益	809,088	1,675,687
営業外収益		
受取利息	4,531	4,415
投資有価証券売却益	-	41,156
持分法による投資利益	17,071	719,974
その他	11,280	199,819
営業外収益合計	32,883	965,365
営業外費用		
支払利息	6,140	7,353
投資事業組合運用損	10,584	-
その他	10,577	5,811
営業外費用合計	27,302	13,164
経常利益	814,668	2,627,887
特別利益		
新株予約権戻入益	3,315	-
事務所閉鎖費用戻入益	-	2,662
特別利益合計	3,315	2,662
特別損失		
減損損失	34,355	19,414
固定資産売却損	-	4,098
関係会社株式評価損	61,928	-
その他	2,773	2,655
特別損失合計	99,057	26,167
税金等調整前四半期純利益	718,925	2,604,381
法人税、住民税及び事業税	331,440	829,553
法人税等調整額	△34,780	△133,671
法人税等合計	296,659	695,882
四半期純利益	422,266	1,908,499
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,163	111,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	385,102	1,797,213



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	422,266	1,908,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200,065	18,119
その他の包括利益合計	200,065	18,119
四半期包括利益	622,332	1,926,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,168	1,815,333
非支配株主に係る四半期包括利益	37,163	111,285

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	718,925	2,604,381
減価償却費	57,768	79,553
減損損失	34,355	19,414
のれん償却額	65,582	54,899
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	233,081	590,235
受取利息	△4,531	△4,415
支払利息	6,140	7,353
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△41,156
持分法による投資損益 (△は益)	△17,071	△719,974
投資事業組合運用損益 (△は益)	10,584	△15,504
暗号資産売却損益 (△は益)	—	△156,464
関係会社株式評価損	61,928	—
売上債権の増減額 (△は増加)	134,356	△471,257
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△228,655	△217,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	81,799	△288,730
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△142,298	△31,326
その他	△48,721	△112,512
小計	963,244	1,296,970
利息の受取額	7,338	7,513
利息の支払額	△6,398	△7,579
法人税等の支払額	△45,645	△575,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	918,539	721,737
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,075	△35,744
無形固定資産の取得による支出	△87,527	△69,717
投資有価証券の取得による支出	△47,733	△32,005
投資有価証券の売却による収入	—	77,156
関係会社株式の取得による支出	△41,928	△20,000
敷金及び保証金の回収による収入	—	40,614
暗号資産の売却による収入	—	231,273
その他	2,424	△15,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,840	176,094
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	550,000
長期借入れによる収入	920,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△461,837	△505,364
社債の償還による支出	△65,000	△55,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,170	—
自己株式の取得による支出	△69,868	—
配当金の支払額	△154,834	△197,729
その他	△1,310	△1,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	576,319	90,595
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,293,018	988,427
現金及び現金同等物の期首残高	3,946,420	6,097,058
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	11,557	2,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,250,996	7,088,432

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績への影響は、現時点においては軽微ではあり、固定資産の減損会計等その前提にて会計上の見積りを行っております。

ただし、今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の変化により、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,363,367	234,967	9,598,335	—	9,598,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,530	2,840	7,370	△7,370	—
計	9,367,897	237,807	9,605,705	△7,370	9,598,335
セグメント利益又は損失 (△)	1,224,330	△30,079	1,194,250	△385,162	809,088

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△385,162千円は、セグメント間取引消去△1,359千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,803千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」において、当社の子会社である株式会社ゆめみのオフィスの一部解約により34,355千円の減損損失を計上しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,095,403	772,494	12,867,898	—	12,867,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,316	120	48,436	△48,436	—
計	12,143,719	772,614	12,916,334	△48,436	12,867,898
セグメント利益	1,930,703	200,478	2,131,181	△455,494	1,675,687

(注) 1. セグメント利益の調整額△455,494千円は、セグメント間取引消去△12,642千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△442,851千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源配分、経営管理体制の実態などの観点から、報告セグメントの区分方法を見直し、従来「モバイルサービス事業」に含めていた、「資金調達プロ」の事業を「フィナンシャルサービス事業」に含める変更をしております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」において、当社の子会社である株式会社ゆめみのオフィスの一部解約により19,414千円の減損損失を計上しております。